

平成30年度石巻市復興公営住宅入居者等健康調査結果について

<市長コメント>

平成30年度に実施した復興公営住宅入居者等の健康調査結果について御報告いたします。

調査は、復興公営住宅及び防災集団移転団地の入居者の健康状態や生活ニーズを把握し、必要な支援に繋げるとともに、健康増進事業や支援体制づくりに活かすことを目的に実施しました。

復興公営住宅では、昨年と同様に独居・2人暮らしが約8割、65歳以上の独居高齢者世帯が約3割と高い状況にあります。

改善した点は、体調面や生産年齢の無職者の減少、入居の経過とともに行事への参加者が増えており、地域での交流が進んでいることが考えられます。

また、防災集団移転団地では、復興公営住宅と比べ、世帯人数も多いほか、無職者の割合も低く、約6割の方が行事へ参加しているなど、体調や心の状態が良好な傾向にあります。

しかし、復興公営住宅の入居の経過とともに抑うつ状態等の心の問題が悪化傾向にあることから、中長期での心のケアや健康支援の継続が必要と感じております。

以上のことから、生活の安定に向けた巡回相談会の開催や対象者へのアウトリーチなど、横断的な連携を強化し、関係機関と協力しながら心のケアや健康づくりの推進に努めてまいりたいと考えております。

詳細については、配付した資料を御覧いただきたいと存じます。